

# カナダ

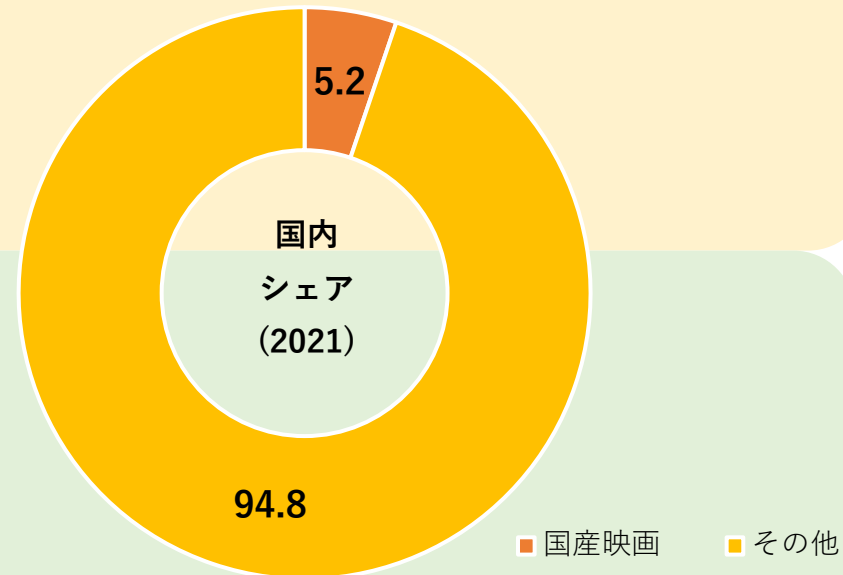


## 映画産業

- ・約60カ国とCoproduction Treaties(共同製作協定) を締結、特にヨーロッパとの連携を重視している
- ・年60作前後の共同製作を手掛ける (テレビ番組含む)
- ・海外からのロケーション撮影は年々増加、全体の半分近くを占める重要な産業となっている

## 国内市場

- ・アメリカと合算して「北米市場」とみなされる場合が多い
- ・カナダ国産映画の興収シェアはわずかに2～5%



## 市場データ (2021年)

・国内興行収入:	3.4 億カナダドル	(2019年: 10.14億カナダドル)
・国内の劇場動員数:	0.35億人	(2019年: 1.107億人)
・国内のスクリーン数:	3,068	(2019年: 3111)
・平均チケット価格:	9.6カナダドル	(2019年: 9.16カナダドル)
・一人あたりの年間平均入場回数:	0.9回	(2019年: 3回)
・マーケットシェアにおける国産映画の割合:	5.2%	(2019年: 1.7%)
・映画製作本数:	88本	(2019年: 153本)

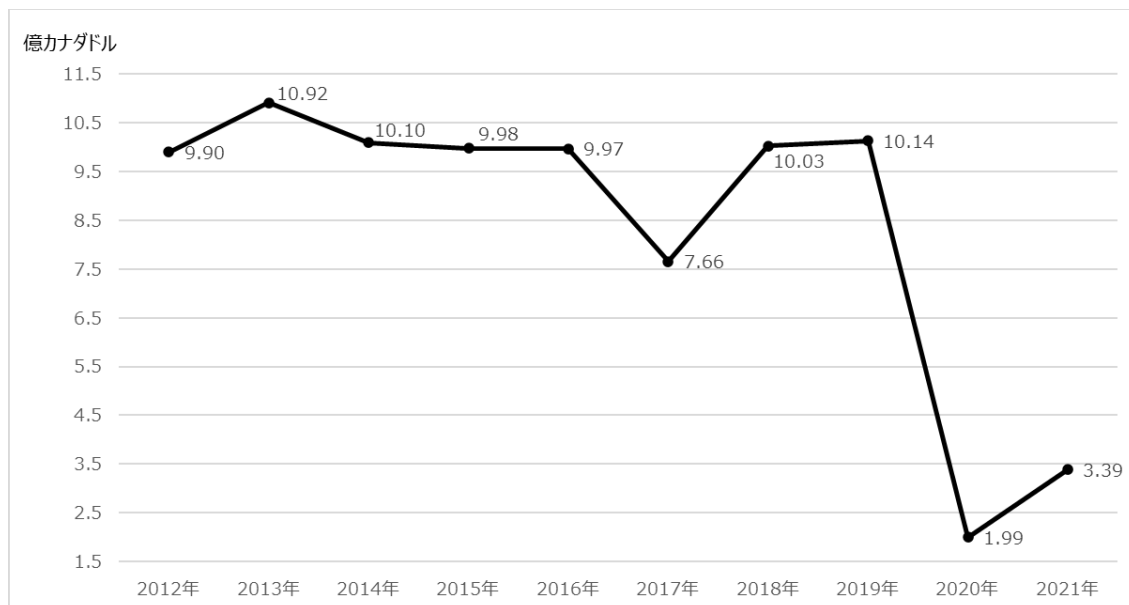
\*100%国産 = 75本、国際共同製作 = 13本

## カナダの国内市場規模

### 1. 興行収入（2012-2021）<sup>1</sup>

\* 10 億カナダドル前後を推移していたが、2021 年はパンデミック前の 3 割強まで回復した。

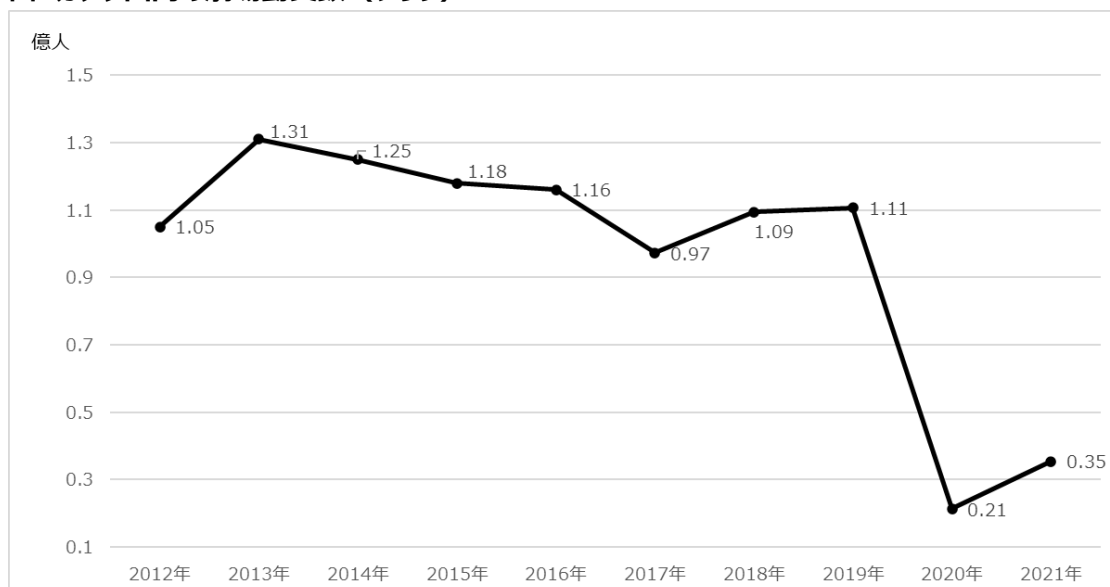
図 カナダ国内の劇場興行収入（グラフ）



### 2. 動員数（2012-2021）<sup>2</sup>

\* 1 億人以上の水準をキープしてきたが、2021 年は興行収入同様、パンデミック前の 3 割強まで回復。

図 カナダ国内の劇場動員数（グラフ）



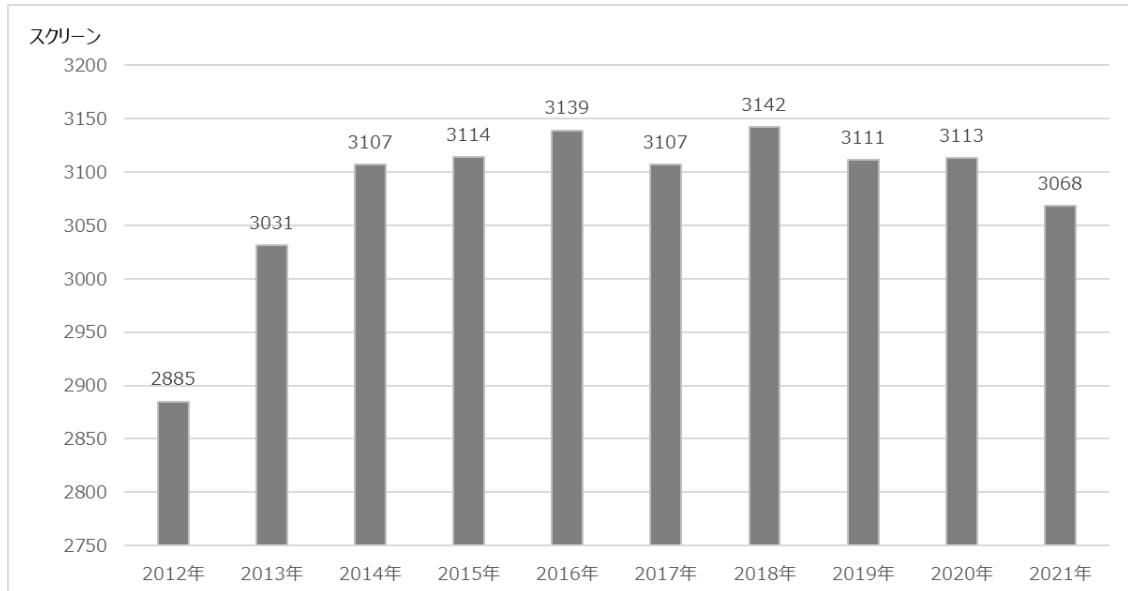
<sup>1</sup> European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012 年版～2021 年版を元に作成

<sup>2</sup> 同上

### 3. スクリーン数（2012-2021）<sup>3</sup>

\* スクリーン数は年により変動するが、3000 スクリーン以上を維持している。

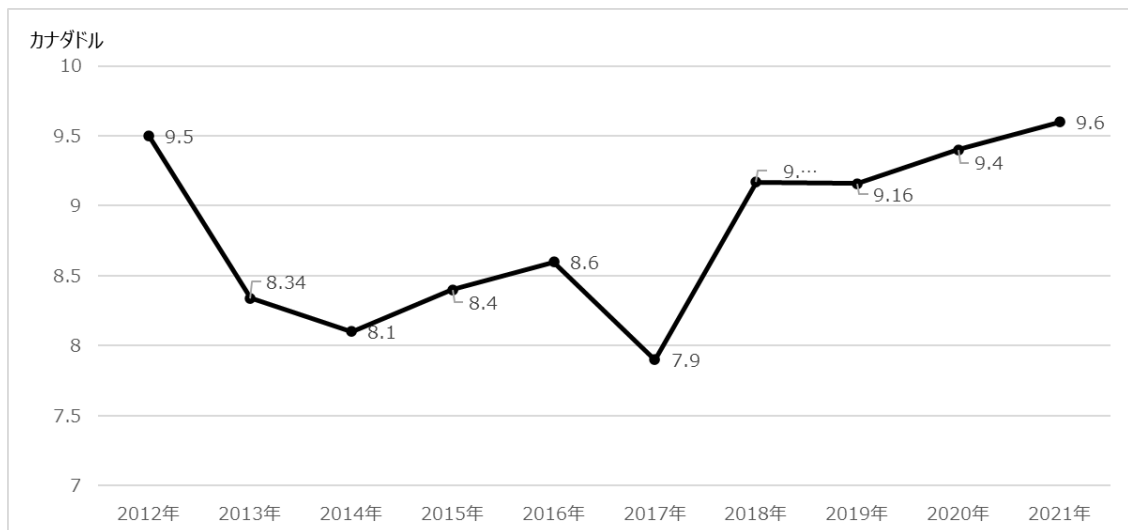
図 カナダ国内のスクリーン数（グラフ）



### 4. 平均チケット価格（カナダドル）（2012-2021）<sup>4</sup>

\* 平均チケット価格は年により変動があるが、近年値上がり続けている。

図 カナダ国内の平均チケット価格（グラフ）



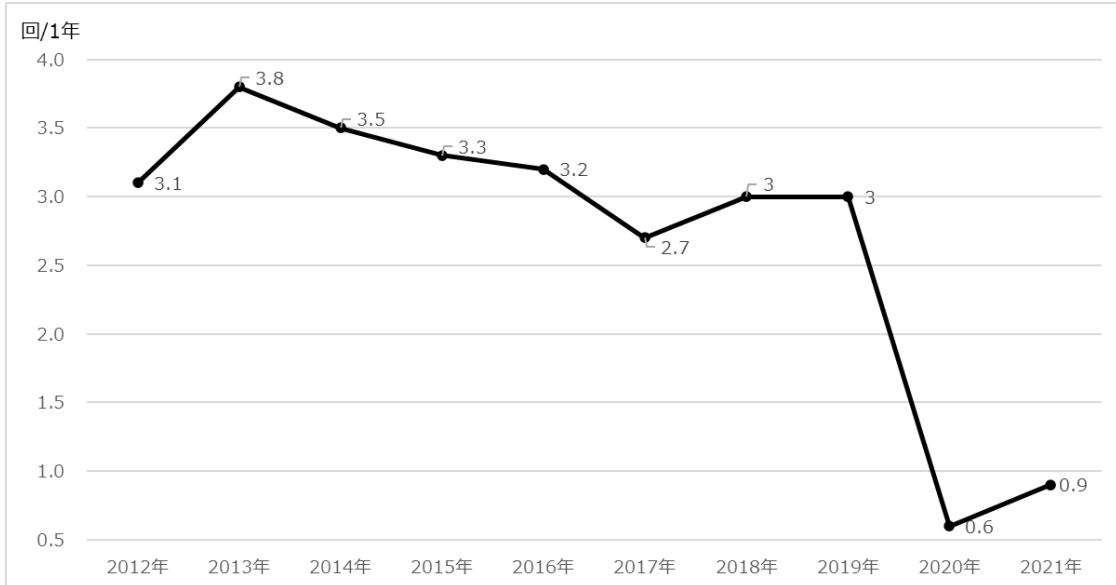
<sup>3</sup> European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012 年版～2021 年版を元に作成

<sup>4</sup> 同上

## 5. 一人あたりの年間平均入場回数（2012-2021）<sup>5</sup>

\* 概ね 3 回以上をキープし世界的にも高水準であったが、2020 年以來 1 回を下回っている。

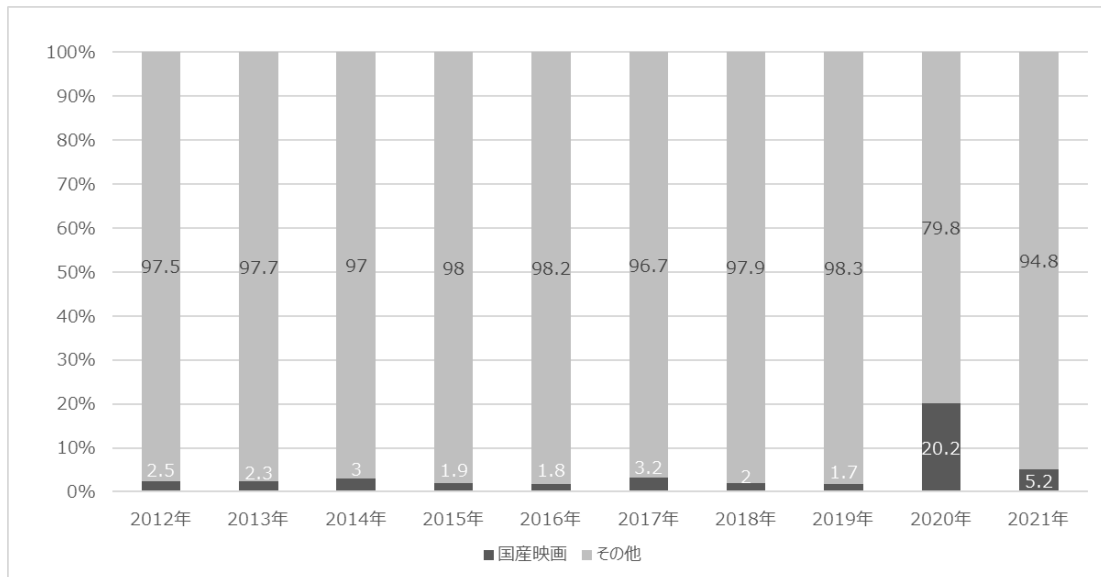
図 カナダ国内の一人あたりの年間平均入場回数（グラフ）



## 6. マーケットシェアにおける国産映画の割合（2012-2021）<sup>6</sup>

\* 国産映画の割合が著しく低く、シェアの大半をアメリカ映画が占める。2021 年は 5%に減少。

図 カナダ国内のマーケットシェアにおける国産映画とアメリカ映画、その他の割合<sup>7</sup>



<sup>5</sup> European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012 年版～2021 年版を元に作成

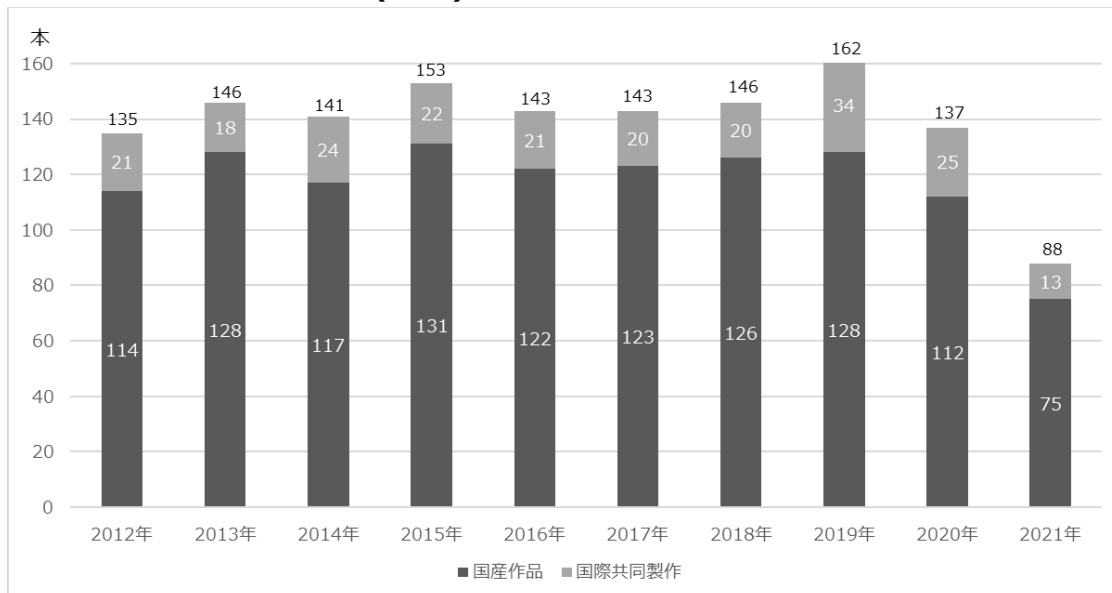
<sup>6</sup> Canadian Media Producers Association (CMPA)作成「Profile 2021」を元に作成

<https://cmpa.ca/profile/> 四捨五入の関係上、元データで 100%に満たない年有り。

## 7. 映画製作本数（2012-2021）<sup>7</sup>

\*製作本数は長年140本前後を推移していたが、2021年は90本弱まで減少。うち国際共同製作が15%程度。

図 カナダ国内の映画製作本数(グラフ)



<sup>7</sup>カナダでは国産映画と国際共同製作作品は別の統計であり、便宜上合計値である。